

神戸市立図書館おすすめブックリスト

えほんの小箱

はじめてであう本（0～2さい）



神戸市立中央図書館

お子さんと一緒に、 図書館に出かけてみませんか？



図書館には、本がいっぱいあります。
赤ちゃん向けの絵本や育児の本など、
様々な本を揃えてお待ちしております！

また、親子で楽しめるイベントもあります。
絵本の読み聞かせや紙芝居の実演
など、定期的におはなし会を開催してい
ます。詳しくは、図書館のホームページ
をご覧ください。



はじめに

幼児の頃から本に親しむことは、子供の成長にとって大いなる栄養素になると言われています。お父さんやお母さんに抱っこされて、優しい声で絵本を読んでもらう赤ちゃんは、きっと自分に対する愛情を肌で感じ取ってくれるでしょう。読み聞かせは、一番簡単な子供とのふれあいの手段かもしれません。



『えほんの小箱』では、神戸市立図書館の子供サービス担当者が、数多く出版されている絵本の中から定番で読み継がれているものを選び、紹介しています。もちろん、ほかにも皆さんとの出会いを待つ絵本が多くあります。ぜひ、たくさんの絵本の中からお気に入りの絵本を見つけてください。

『えほんの小箱』が、皆さんのお役に立てば幸いです。

神戸市立図書館

目 次

◆ふれあいを楽しもう！	．．．	1 ページ
◆のりもの だいすき！	．．．	3 ページ
◆おいしいもの だいすき！	．．．	4 ページ
◆どうぶつ だいすき！	．．．	5 ページ
◆ことばのひびきを楽しもう！	．．．	6 ページ
◆せいかつの絵本	．．．	8 ページ
◆みじかい みじかい おはなし	．．．	10 ページ
◆わらべうたの絵本	．．．	13 ページ
◇書名索引	．．．	14 ページ
◇著者名索引	．．．	15 ページ
◇絵本の読み聞かせ Q & A	．．．	16 ページ

ふれあいを楽しもう！

お父さん・お母さんの中には、赤ちゃんとはどんなふうに遊べばよいのか、わからない方もいるかもしれません。そんな時はぜひ、絵本を読んであげてください。ふれあい遊びやわらべうたを歌ってみるのも楽しいですよ。

いない いない ばあ

松谷みよ子文 瀬川康男絵 童心社

「いないいない」で顔をかくした動物たちが、次のページで「ばあ」とかわいらしく、豊かな表情を見せます。いろいろな動物たちによる「いないいないばあ」が、リズムカルに繰り返されます。



くっついた

三浦太郎作・絵 こぐま社

「きんぎょさんと きんぎょさんが くっついた」繰り返しのリズムが楽しく、明るくはっきりした絵が特徴の絵本です。最後は、お母さんとお父さんがわたしにくっついて…。みんなを笑顔にしてくれます。



あかちゃんたいそう

鈴木まもる作 小峰書店

「あかちゃんたいそう」を始めましょう！ねこさんとほっぺをくっつけて、すりすりすり。ぞうさんとは、鼻をくっつけて、くんくんくん。次々に登場する動物たちと体をくっつけながらたいそうすると、楽しいね。最後はお母さんの出番です。



かお かお どんなかお

柳原良平作 こぐま社

「かおにめがふたつ はなはひとつ」と、みんな同じものがついている顔なのに、ページをめくると、いろいろな表情に出会えます。余分な背景などは一切ありません。ただただ、「かお」に眺め入ってしまう楽しい絵本です。



おててがでたよ

林明子作 福音館書店

赤ちゃんがおきがえ中です。頭からすっぽりと布をかぶって、あれれ、なんにも見えない！おててはどこかな？あんよは？最後まで一人でおきがえできるかな？日常の一コマを丁寧に描いた絵本。同シリーズに『きゅっきゅっきゅ』などがあります。



おつむ てん てん

なかえよしを作 上野紀子絵 金の星社

「さっちゃんがおつむてんてん おくちはあわわ それをみていたにゃんこがまねた…」表情豊かな絵とやさしい言葉づかいが特徴です。シリーズに『おくちはどーこ』『おきゃくさんだーれ』があります。



ぴょーん

まつおかたつひで作・絵 ポプラ社

表紙を開くと、かえるが「ぴょーん」。ページをめくると、こねこやバッタなどの身近な動物たちが、ページいっぱい飛び跳ねます。さて、かたつむりはジャンプできるかな。



のりもの だいすき！

ある時期から、のりものに夢中になる赤ちゃんたちがいます。
のりものの図鑑もよいですが、さまざまなタイプの、のりものを
テーマにした絵本も読んであげてください。

のせて のせて

松谷みよ子文 東光寺啓絵 童心社

「ブブー」と走るまこちゃんの自動車を「ストップ！」とうさぎが止めました。うさぎの次はくま、その次はねずみの親子です。みんなを乗せた自動車は、まっくらなトンネルへ。動物たちが次々に乗り込んでくる楽しさと、暗いトンネルでのドキドキが、子供の心をつかみます。



でんしゃ

バイロン・バートン作・絵 こじまもる訳 金の星社

みんなが大好きな電車が、たくさん登場する絵本です。力強い線と鮮やかな色づかいが目を引きまします。シリーズには『ひこうき』『とらっく』などがあります。



ずかん・じどうしゃ

山本忠敬作 福音館書店

パトロールカーや救急車など、子供たちが大好きな自動車を数多く紹介する、小さい子向けの図鑑です。ストーリーはありません。細かく描かれた車両をじっくり眺めるだけでも楽しく、のりものに興味をもち始めた子供たちにおすすめです。



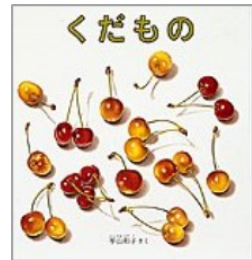
おいしいもの だいすき！

幼い子も「食べる」ことに興味があります。絵本に登場する食べ物の名前を覚えたり、さし絵を見ながら食べるまねをしたりと、子供たちは絵本を十分に味わってくれることでしょう。

くだもの

平山和子作 福音館書店

左ページには、くだものが本物そっくりに描かれています。右ページに移ると、そのくだものが「さあどうぞ」と盛りつけられて出てきます。どのくだものもおいしそうで、知っているものが出てくると、大人も子供も、思わず目を合わせてにっこりしてしまいます。



おにぎり

平山英三文 平山和子絵 福音館書店

できたてほかほかのおにぎりを、お弁当箱につめて、いってらっしゃい。ページをめくるうちに、おにぎりが食べたくなるから、不思議です。おにぎりができあがっていく様子を、やさしい色合いで、丁寧に描いた一冊です。



りんご

松野正子文 鎌田暢子絵 童心社

赤・黄色・ピンクの丸いりんごが三つあります。でも、皮をおくと三つとも白いりんごになりました。りんごを切って、芯をとると、おいしそうなりんごがお皿いっぱい。子供たちにも身近な「りんご」に注目する絵本です。



どうぶつ だいすき！

動物の本を紹介すると、よく「絵と写真、どちらがいいの？」と尋ねられます。動物の毛並みやリアルな表情は、写真ならではの魅力です。ただし、幼い頃は、写真の陰影（コントラスト）が分かりにくい場合があります。一方で、本物そっくりの写実的な絵は、写真にはない「あたたかみ」があります。

どうぶつのおやこ

藪内正幸画 福音館書店

おなじみの動物たちが親子で紹介されています。正確な動物の描写は、赤ちゃんの目にもはっきりと捉えられるので、「はじめての絵本」としても定番の一冊です。



こんにちは どうぶつたち

とだきょうこ案 さとうあきら写真 福音館書店

本物の動物の顔を、アップでまじまじと見つめる機会なんて、あまりありませんよね。この本にはオオカミやコアラ、ゴリラやゾウなどのかわいい顔やユーモラスな顔が、収められています。



どうやって ねるのかな

やぶうちまさゆき作 福音館書店

身近な動物が寝ているところを、写実的に描いた絵本です。動物たちがいつもどんな姿で、どうやって眠るのかななんて、意外と知らないもの。ページをめくりながら、動物たちのさまざまな寝姿を楽しめます。ラクダやコウモリなど、あまりなじみのない動物たちも登場しますよ。



ことばのひびきを楽しもう！

赤ちゃんは、言葉の響きに敏感です。リズムカルな言葉を聞いて、体全体で楽しむ赤ちゃんを見ていると、不思議と大人まで楽しくなります。一緒に体を動かしたり、好きなリズムで読んだり、親子で楽しみながら読んでみてください。

ころころころ

元永定正さく 福音館書店

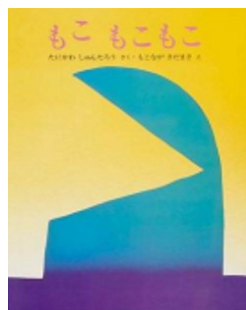
ページの上で、いろいろな色の小さな玉が転がりました。一列に並んでころころ、ころころ。階段をのぼって、おりて、ころころ。でこぼこ道もなんのその。繰り返される「ころころ」という音の響きをたっぷり楽しんでください。



もこ もこもこ

たにかわしゅんたろう作 もとながさだまさ絵 文研出版

「もこもこ」「によきによき」「ふんわふんわ」といった言葉と、その言葉のイメージにぴったり合う、きれいなグラデーションの絵が楽しい絵本です。子供たちも、不思議な言葉の響きに、グッとひきつけられるようです。



じゃあじゃあ びりびり

まっいのりこ作・絵 偕成社

「いぬ わんわんわん」「みず じゃあじゃあじゃあ」「かみ びりびりびり」。赤ちゃんの身のまわりの音を集めた絵本です。はっきりとした色で描かれたさまざまなものと、そこから聞こえてくる音を、親子で一緒に確かめてみましょう。



だるまさんが

かがくいひろしさく ブロンズ新社

丸々とした、だるまさんの登場です。「だ・る・ま・さ・ん・が」と体をゆらし、ページをめくると「どてっ」。転んだり、へしゃげたり、のびたりと、だるまさんの一つ一つのユーモラスな動きに、思わずにっこりしてしまうでしょう。



がたん ごとん がたん ごとん

安西水丸作 福音館書店

緑の上を進んでいく、かわいい顔がついた、黒い機関車。がたんごとんと走っていくと、「のせてくださいー」と、いろいろなお客さんが乗ってきます。「がたんごとん」のリズムを楽しむ絵本です。シリーズに、夏の海辺を走る『がたんごとんがたんごとん ざぶんざぶん』もあります。



ボランティアさんからひとこと

『だるまさんが』を読むと、だるまさんと一緒にお母さんの体もゆれてきて、何だか楽しそうです。赤ちゃん向けのおはなし会で、読み聞かせをじっと聞いているだけだと、お母さんも所在無げですが、赤ちゃんと一緒に何かできる絵本は、楽しんでもらえるようです。

もう少し大きくなったら… (2歳半くらいから)

『どこへいった？』

マーガレット・ワイズ・ブラウン作

バーバラ・クニー絵 うちだりさこ訳 童話館出版

詩のようなリズムカルな言葉が楽しめる本です。

黒・白・赤の3色だけの色づかいが鮮やかに感じられます。



せいかつの絵本

2歳頃には一日の流れがわかり、身近な生活の場面が描かれた絵本も楽しめるようになってきます。

しごと

ヘレン・オクセンバリー作 文化出版局

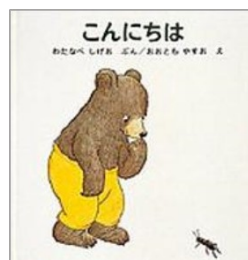
食事や散歩、お風呂など、赤ちゃんの「しごと」がテーマの絵本です。柔らかなタッチで描かれた赤ちゃんの動きや表情を楽しんでください。



こんにちは

わたなべしげお文 おおともやすお絵 福音館書店

挨拶を覚えたこぐまが、まわりの人やものに次々とあいさつをしていきます。こぐまの仕草が愛らしく表現されています。他にも『どうすればいいのかな』などがあります。



くまさん くまさん

なかがわりえこ作 やまわきゆりこ絵 福音館書店

「くまさんくまさん」の繰り返しが心地よい絵本です。くまさんのさまざまな生活の場面が登場します。くまさんの動きをまねしたり、繰り返しのリズムにのせて体を動かしたりしてみましょう。



こぐまちゃんのみずあそび

わかやまけん作 こぐま社

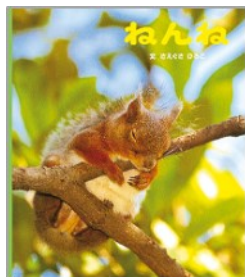
みんなが大好きな水遊び。じょうろでふんすい、はっぱのぼーと、おもしろいね。身近な楽しい遊びが絵本になりました。「こぐまちゃんえほん」シリーズの一冊です。



ねんね

さえぐさひろこ文 アリス館

「こぎつねねんね なかよしねんね」「やまねのねんね まんまるねんね」繰り返しのリズムと、きつねやライオン、かばにゴリラなど、さまざまな動物たちの寝顔を写真で楽しめる絵本です。



図書館からひとこと

生活リズムがわかってくる頃、絵本の中での出来事が、赤ちゃんの実体験と重なり合います。絵本の言葉を耳で聞いて覚えて、生活の中でのとても確かな場面でそれを流用し、周囲の大人たちを驚かせてくれることがあります。読み聞かせをしている大人たちにとっては、思いがけない赤ちゃんからの嬉しいプレゼントです。

もう少し大きくなったら…（2歳半くらいから）

『タンタンのずぼん』

いわむらかずお作 偕成社

タンタンのズボンは、とてもすてき！
ちょっと大きすぎて困ることもあるけれど、ブランコも電車ごっこもできるし、もっとすごいことだってできるのです。
シリーズに『タンタンのハンカチ』などがあります。



みじかい みじかい おはなし

2歳後半になってくると、ごく短いストーリーや、起承転結があるおはなしも楽しめるようになってきます。少しずつこんな本も試してみてください。

おつきさまこんばんは

林明子作 福音館書店

「よるになったよ」「おそらがくらいくらい」夜空に静かに現れたのは、おつきさま。おつきさまと話をしているとやってきたのは雲さんでした。シルエットで浮かび上がるネコの動きや、雲とのやりとりが楽しい絵本です。



たまごのあかちゃん

かんざわとしこ文 やぎゅうげんいちろう絵

福音館書店

「たまごのなかで かくれんぼしている あかちゃん はだあれ？ でておいでよ」という呼びかけに対して、ひよこやかめなどの赤ちゃんたちが出てきます。シンプルな絵とあてっこが楽しめます。



つみき

中川ひろたかぶん 平田利之え 金の星社

縦開きの絵本をめくると、一個、二個、三個と、どんどんつみきが積み上げられていきます。積まれたつみきも満足そう。ところが十個まで積んだてっぺんにテントウムシがとまって…。つみきを積むだけの単純なストーリーですが、積んではこわすことが大好きな子供の心をつかみます。



きんぎょが にげた

五味太郎作 福音館書店

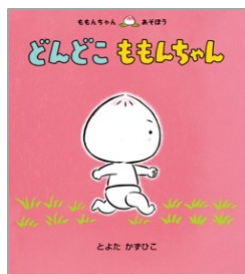
きんぎょがにげだした！部屋の中のいろいろなものの中にまぎれて、にげたきんぎょが上手にかくれています。どこにいるのか、全部のページで見つけられるかな？絵探しが楽しい絵本です。



どんどこ ももんちゃん

とよたかずひこ作・絵 童心社

ももんちゃんはいそいでいます。どんどこどんどこ、走って川を渡り、山を登って、いそいで向かった先は…。最後は、思わずももんちゃんをぎゅっと抱きしめてあげたくなります。ピンクの表紙と優しい絵柄が特徴の、人気シリーズです。



かさ

松野正子作 福音館書店

みんながさしているのは、どんなかさでしょう。赤いかさ、青いかさ、それとも黄色のかさかな？雨降りの日の、ちょっぴり特別な、うきうきする気持ちが伝わってきます。子供たちの元気な顔も楽しい、明るい気持ちになれる絵本です。



ひまわり

和歌山静子作 福音館書店

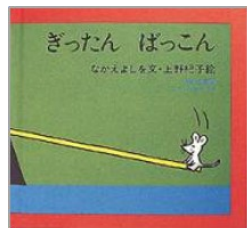
ちいさなたねが、土の中から芽をだして、どんどこ、どんどここのびていきます。太陽の光をいっぱいあびて、雨にうたれ、風に吹かれ、ついにおひさまのような大きな花を咲かせました。見開きページいっぱいひまわりは、迫力満点です。



ぎったん ばっこん

なかえよしを文 上野紀子絵 文化出版局

動物たちのシーソー遊びを描いた絵本です。シーソーにのる動物が1匹ずつ増えるごとに、繰り返される「ぎったん ばっこん」という音の響きをたっぷり味わえます。シーソーで遊ぶ動物たちの楽しさが伝わってきます。



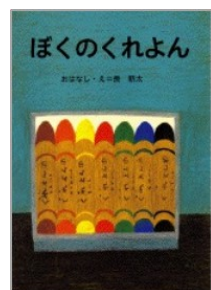
図書館からひとこと

1ページごとにしか楽しめなかった赤ちゃんも、少しずつページの連続性に気付き、めくった先のページの意味もわかるようになってきます。読み聞かせる大人も、本を選び、読んであげる楽しみが増えることでしょう。

もう少し大きくなったら… (2歳半くらいから)

『ぼくのくれよん』 長新太話・絵 講談社

とっても大きなクレヨンには、ゾウのものです。クレヨンでゾウが絵を描くと、動物たちは大さわぎ。ダイナミックな美しい絵と楽しいお話が子供の心をとらえます。



『ちいさなうさこちゃん』

ディック・ブルーナ文・絵 いしいもこ訳 福音館書店

ふわふわさんとふわおくさんに、かわいい赤ちゃんが生まれました。それが、うさこちゃんです。明るいい色づかいに黒いふちどりの絵。日常の出来事が簡単な言葉で綴られています。



わらべうたの絵本

リズムに合わせて体を動かしたり、歌詞にお子さんの名前を入れたり、わらべうたを通してお子さんとたくさん触れ合ってみましょう。

まて まて まて

こばやしえみこ案 ましませつこ絵 こぐま社

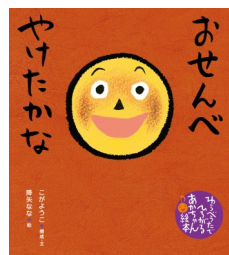
絵本の中で、ハイハイで逃げる子をぬいぐるみたちが「まてまて」と追いかけてきます。同じように、お子さんを追いかけて遊んでみましょう。シリーズには『ととけっこう よがあけた』や『ちびすけどっこい』などがあります。



おせんべ やけたかな

こがようこ構成・文 降矢なな絵 童心社

「おせんべやけたかな」でページをめくると、1枚ずつおせんべいが焼けていきます。次に焼けるおせんべいを当てっこしても楽しいです。シリーズには『ねーずみ ねーずみ どーこ いきや?』『へっこ ぷっと たれた』があります。



あかちゃんのごきげんがよくなる 12のわらべうたえほん

小林衛己子編 あべななえ絵 ハッピーオウル社

わらべうたを歌いながら、お子さんと遊んでみましょう。この本では、かわいいイラストと共に、遊び方もわかりやすく紹介しています。



図書館からひとこと

赤ちゃん向けのおはなし会でわらべうたを歌うと、赤ちゃんが興味を示す様子がよく見られます。わらべうたのゆったりとしたリズムが、耳に心地よいのでしょう。ぜひ、わらべうたを楽しんでください。

書名索引

ア

あかちゃんたいそう	1
あかちゃんのごきげんがよくなる 12のわらべうたえほん	13
いないいないばあ	1
おせんべやけたかな	13
おつきさまこんばんは	10
おつむてんてん	2
おててがでたよ	2
おにぎり	4

カ

かおかおどんなかお	2
かさ	11
がたんごとんがたんごとん	7
ぎったんぱっこん	12
きんぎょがにげた	11
くだもの	4
くつついた	1
くまさんくまさん	8
こぐまちゃんのみずあそび	8
ころころころ	6
こんにちは	8
こんにちはどうぶつたち	5

サ

しごと	8
じゃあじゃあびりびり	6
ずかん・じどうしゃ	3

タ

たまごのあかちゃん	10
だるまさんが	7
タンタンのずぼん	9
ちいさなうさこちゃん	12
つみき	10
でんしゃ	3
どうぶつのおやこ	5
どうやってねるのかな	5
どこへいった？	7
どんどこももんちゃん	11

ナ

ねんね	9
のせてのせて	3

ハ

ひまわり	11
ぴょーん	2
ぼくのくれよん	12

マ

まてまてまて	13
もこもこもこ	6

ラ

りんご	4
-----	---

著者名索引（作者、画家、訳者など）

※外国人名は、姓・名の順です。

ア

あべななえ	13
安西水丸（あんざい みずまる）	7
いしいももこ	12
いわむらかずお	9
上野紀子（うえの のりこ）	2,12
うちだりさこ	7
おおともやすお	8
オクセンバリー、ヘレン	8

カ

かがくいひろし	7
鎌田暢子（かまた のぶこ）	4
かんざわとしこ	10
クーニー、バーバラ	7
こじままもる	3
小林衛己子（こばやし えみこ）	13
五味太郎（ごみ たろう）	11

サ

さえぐさひろこ	9
さとうあきら	5
鈴木まもる（すずき まもる）	1
瀬川康男（せがわ やすお）	1

タ

たにかわしゅんたろう	6
長新太（ちょう しんた）	12
東光寺啓（とうこうじ けい）	3
とだきょうこ	5
とよたかずひこ	11

ナ

なかえよしを	2,12
中川ひろたか（なかがわ ひろたか）	10
なかがわりえこ	8

ハ

パートン、パイロン	3
林明子（はやし あきこ）	2,10
平田利之（ひらた としゆき）	10
平山英三（ひらやま えいぞう）	4
平山和子（ひらやま かずこ）	4
ブラウン、マーガレット・ワイズ	7
ブルーナ、ディック	12

マ

ましませつこ	13
まつのりこ	6
まつおかたつひで	2
松谷みよ子（まつたに みよこ）	1,3
松野正子（まつの まさこ）	4,11

三浦太郎（みうら たろう）	1
元永定正（もとなが さだまさ）	6

ヤ

やぎゅうげんいちろう	10
柳原良平（やなぎはら りょうへい）	2
薮内正幸（やぶうち まさゆき）	5
山本忠敬（やまもと ただよし）	3
やまわきゆりこ	8

ワ

わかやまけん	8
和歌山静子（わかやま しずこ）	11
わたなべしげお	8

絵本の読み聞かせ Q&A

皆さんからよく寄せられる質問にお答えします。



Q1. いつ頃から始めたらよいですか？



A1. 赤ちゃんにも個性や個人差がありますので、お子さんの様子を見ながら始めてください。

興味がなさそうな場合でも、時間をおいて何度か試してみましょう。無理に聞かせようとせず、泣いたり、飽きたりするようならすぐに終わりにしましょう。



Q2. どんな絵本がよいのでしょうか？



A2. 言葉の繰り返しやリズム感のある絵本がよいでしょう。赤ちゃんは音やリズムに興味をしめすことが多いです。単純ではっきりした色づかいで、丁寧に描かれた絵本を選びましょう。

赤ちゃんが周りの世界を認識するようになったら、犬など見たことのある動物や、食べ物など、身の回りにあるものが出てくる絵本もよいでしょう。





Q3. どんなふうに絵本を読んだらよいですか？



A3. できるだけゆっくり、はっきりと読んでください。
また、声色を変えて演じたりせず、そのままの声で読みましょう。赤ちゃんが絵本に慣れて興味をしめすようになれば、親子でゆったりした読み聞かせの時間を持ちましょう。例えば、お休み前のひと時を使って、膝の上で始めてみてはいかがでしょうか。

テレビは消し、スマートフォンなどはいったん置いて、落ち着いた雰囲気を作りましょう。



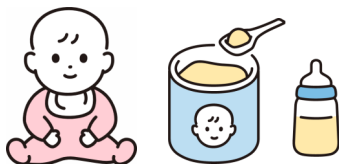
Q4. 読み聞かせをしても、全然聞いてくれません



A4. 最後まで読めなくても構いません。

赤ちゃんの場合は絵本を読むというより、同じ絵を眺めながら、ことばの響きやリズムと一緒に味わう気持ちで、1～2分楽しめればそれで十分です。

赤ちゃんにとって絵本は、まだおもちゃと同じです。なめたり、かじったりするのは、興味がある証拠。中身の絵に少しでも興味を示す様子があれば、読んであげてください。焦らずにゆっくりと、この時間を楽しんでください。



- ・神戸市立図書館のサービスなどについては、ホームページをご覧ください。各図書館へのアクセス方法や行事予定など、様々な情報を掲載しています。



- ・『えほんの小箱』は図書館のホームページでも見ることができます。



えほんの小箱 はじめてであう本（0～2さい）

初版：平成28年3月

改訂：令和3年5月 第1版

令和7年3月 第2版

発行：神戸市立中央図書館

兵庫県神戸市中央区楠町7-2-1



 **KOBE**